

広報ボランティアの カメラレポート

福津市民の取材による福津市内の話題提供

玉せり



1月3日、旧福岡浦の南町区と緑町区に古く伝わる、無病息災や漁の安全を祈る伝統行事「玉せり」がありました。午前11時25分、新成人が持つ直径31cm、重さ12kgの木製の玉を先頭に、約50人の締め込み姿の男たちが、「わっしょいわっしょい」の掛け声で現れました。見物客が見守る中おはらいを受け、お神酒を回し飲み、玉せりを奉納しました。子どもたちも大人に負けず玉を競り、1年の健康を祈願しました。【山本武利さん】

「福津の極みの店」正月開店



1月1日から1月9日まで福津の産品ブランド「福津の極み」の店が宮地嶽神社の参道沿いに開店しました。出店は今年で8年目となり陶器の置物やガラス工芸などの品、揚げ物や鯛茶づけなどの食品が並んでいました。スタッフの高田さんは「リピーターもあり、認知度も増したようです。今後も市内外のお客さんに福津市をPRしたいです」と意気込んでいました。にぎやかな参道には元気な呼び声が響いていました。【櫻井紀子さん】

宮司3区の新春餅つき大会



1月29日、昨年の夏に開所した「くらしのサポートセンターサンクス」で恒例の餅つき大会が開催されました。この施設での開催は初めてでしたが、約200人が参加し70kgの餅米をつきました。参加者はつきたての餅を、きな粉や餡、黒ごま、大根おろしなどにつけて、振る舞われた豚汁と共においしそうに食べていました。「次は花見だね」との声もあり、サンクスを通じた住民の親睦を感じることができました。【中山和恵さん】

交通事故などにあつたらまず連絡を

国民健康保険に加入している人は、交通事故など第三者（自分以外の人）からの行為

で負傷した場合、市に連絡をしてください。これは、治療費の一部を加害者に請求する

知っとく納得!

保険年金医療

市保険年金医療課 ☎43・8127



▲できるだけ早く届出をしてください

ためです。その他、「第三者行為」に該当するのは、次のような事例です。

- ・単独事故の同乗者
- ・他人のペットによるけが
- ・けんかなどの暴力行為
- ・食中毒

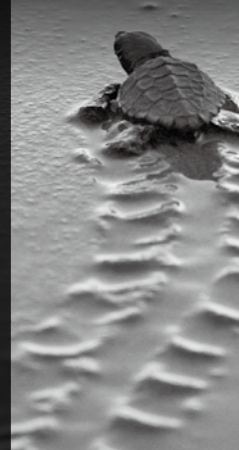
ただし、次のような場合は保険証が使えません。

- ・通勤中・仕事上のけが
- ・自殺や自傷行為などの故意のけが

医師の診察を受ける際は、第三者によるけがであることを正しく伝えてください。もちろん警察にも届けましょう。

環境 掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019
FAX436・6005 E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp



環境フォーラム「ふくつを開催しました」

昨年12月17日、イオンモール福津で「第12回環境フォーラム」がふくつとともに守り育てよう!!世界遺産と有干潟が奏でる豊かな環境」を開催し、約4200人が来場しました。市の伝統工芸品であるモマ笛の絵付け体験や世界遺産



▲来場者でにぎわう各ブース

産にちなんだ勾玉づくり、竹を用いたスタードームの中でのうき守りづくりなど多くの体験イベントのほか、九産ライダーショーや水産高校軽音楽部の演奏、干潟みまもり隊によるアサリの浄化実験、光陵高校と水産高校の生徒たちの環境発表、郷づくり推進協議会の活動紹介、環境保全団体の活動報告や小学生による環境新聞などの展示も行いました。フォーラムを開催するにあたっては、企画運営委員、光陵高校、水産高校、九州産業大学、九州工業大学、市民活動団体の皆さんに多くの御協力をいただきました。これからも環境保全のための啓発活動に努めていきます。

猫を飼っている人へのお願い

2月22日は「猫の日」です。猫は愛らしい動物ですが、無責任な飼い方をすると周囲に迷惑をかけてしまうことがあります。飼い主として、次のマナーを守るようにしましょう。

- ①できるだけ室内で飼いましよう
- ②不妊・去勢手術を受けさせましょう
- ③飼い主がわかるように、迷子札をつけましょう
- ④飼えなくなっても、ぜったいに捨てないで!
- ⑤最後まで責任を持って飼いましよう

すぐに増えてしまいます。責任を持って子猫を産ませるのでなければ、不妊・去勢手術をして過剰な繁殖を防ぎましょう。

③ 飼い主がわかるように、迷子札をつけましょう
飼っている猫が迷子になったり家に帰れなくなったりしたときに備えて、飼い主を明示することが重要です。自分の飼っている猫に責任を持つ意味でも、迷子札やマイクロチップなど飼い主がわかる標示をつけましょう。

④ 飼えなくなっても、ぜったいに捨てないで!
猫に限らず飼っていた動物を捨てることは犯罪です。100万円以下の罰金が科され、やむを得ず飼えなくなつたときは新しい飼い主を見つけましょう。

⑤ 最後まで責任を持って飼いましよう
猫の寿命は15〜20年といわれています。病気などで世話が大変になつても、途中で放棄せず最後まで愛情を注いで飼いましよう。



▲最後まで責任を持って飼いましよう

猫の寿命は15〜20年といわれています。病気などで世話が大変になつても、途中で放棄せず最後まで愛情を注いで飼いましよう。